

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
人 権 ・ 労 働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	チームワークとコミュニケーションの重要性を経営の軸としており、あらゆる差別を防ぐ体制になっている。相談体制も整備している。						5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8								16.1 16.2 16.7							
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント禁止のポスターを掲示、啓蒙活動をしている。相談体制も整備している。						5.1 5.2 5.5					8.5 8.8								16.1							
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	生産効率向上を図るため、新しい機械設備の導入を進めている。受注状況により緊急性のない残業はしないよう呼びかけている。												8.5 8.8														
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人労働者は在籍していないが、今後採用した場合は差別、人権侵害のないよう徹底する。				4.4								8.7 8.8								10.2 10.3						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	単独作業者に非常ベルを配布し緊急時に備えている。朝礼で怪我のないよう呼びかけをしている。								3													8					
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	コミュニケーションを大事にしており、何かあれば個別に面談を行うようにしている。									3																	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多能工化を進めることで、年齢性別等に関係なく能力を発揮できるような人材活用をしている。					5.1 5.5							8.5 10.2 10.3														
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	個々の能力、業務における必要性に応じて研修、検定試験の機会を提供している。				4	5.5							8			9											
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働法を理解し、原則に則った対応をしている。						5.5						8.5 10.2 10.3														
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	雇用形態に関わらず全従業員の健康診断を行っており、基本健診に付加健診もつけるよう検討している。ワクチン休暇、ワクチン給付金を設け接種率向上につなげている。									3												8					
環 境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	法令に則った廃棄物の管理と処理を行っており、処理業者と最終処分場を把握している。																11.6	12.4		14.1							
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エネルギー使用量については毎月把握している。排出量についてはエネルギー診断を行う予定																				7.3			13			
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	こまめな節電節エネルギーを呼びかけている。諏訪市ゼロカーボンシティ宣言に賛同している。																				7.2 7.3			12.4 13.3			
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質を意図的に含まない材料の確保をしている。																				3.9			6.3			11.6 12.4
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材料で製造をしているため悪影響はないものと考えている。																				6.6			15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	創業当初より梱包資材のリサイクルを徹底している。製造過程で排出されるスクラップを削減するため、プログラムの段階で無駄のないようにしている。																							12.5			14.1
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社活動において大きな水使用量はないが、使用量の記録を行い節水と呼びかけるようにする。																							6.4 6.6			

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	自社活動の中で何を取得すべきか比較検討していく			3.9			6	7					12	13.3	14	15						
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	[予定]長野県SDGs推進企業登録をすることで情報開示に取り組んでいく													12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現状利用はないが、太陽光パネル、エコカー、LED照明の導入を検討していく。							7.2							13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	[予定]スクラップの削減目標を掲げ、製造工程でのロスを減らしていくことで天然資源の持続的利用に貢献する。														12.2	13	14	15				
22	公正な事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	常日頃、エイワ機工の従業員として良識ある行動をとるよう周知している																			16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	同上																				16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	入社時に自社、顧客の機密保持を周知し、誓約書に署名を求めている。										8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	特定の人物のみ関わるようにし、個人情報の記載がある書類については金庫保管している。																				16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	仕入れ材に紛争鉱物(3TG)が含まれていないことを証明する書類定期的に求めて確認している																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	常日頃、エイワ機工の従業員として社内的にも社外的にも良識ある行動をとるよう周知徹底している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17			
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	顧客よりクレームがあった場合に対応する部署を設けている			3.9										12.4								
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	営業担当者が顧客とのコミュニケーションを心がけ、製品やサービスに満足して頂けるシステムを整えている。										9											
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	自社で開発設計している製品は1パーセントに満たないが、自社で使用する備品等に関して環境配慮型の製品を購入していく。						6							12	13	14	15					
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	自社製品がどんな社会課題に関わることができるのか検討する。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	近隣住民に配慮した工場設計・建設を行った。クレームがあった際は即日対応しご理解を頂いた。					4								9		11	12			14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	自社で製造加工したテラシホルダーを諏訪市へ寄付した。毎年、日本赤十字社へ寄付をしている。今後も続けていく予定。					4											11				14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	仕入れ先、外注先、消耗品購入は地元企業を積極的に活用している。															8	9		11	12	13				
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営トップの経営理念、経営目標は随所で従業員に周知され共有している。														8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	新しい法令が出来た場合は経営トップに指示を仰ぎ遵守する体制が出来ている。2022年4月開始のアルコールチェック義務化についても体制を構築済み。																							16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	地域や顧客の求めに応じて、迅速な対応をする体制が整備されている。																							16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	自社活動において、コミュニケーションの重要性を掲げており、ステークホルダーとの関係を密にして情報収集に努め対応している。																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	自然災害、感染症、生産活動におけるリスクを特定し、対応できる体制を整備している。																							16	
40	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	企業活動が社会や環境に悪影響を与えないよう、情報収集に努め、あらゆる影響に対して迅速に対応している。																							16		
41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BOPを策定し明文化していく。																	9		11		13	13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	経営トップが企業の将来を見据えた対策を行っている。																8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）